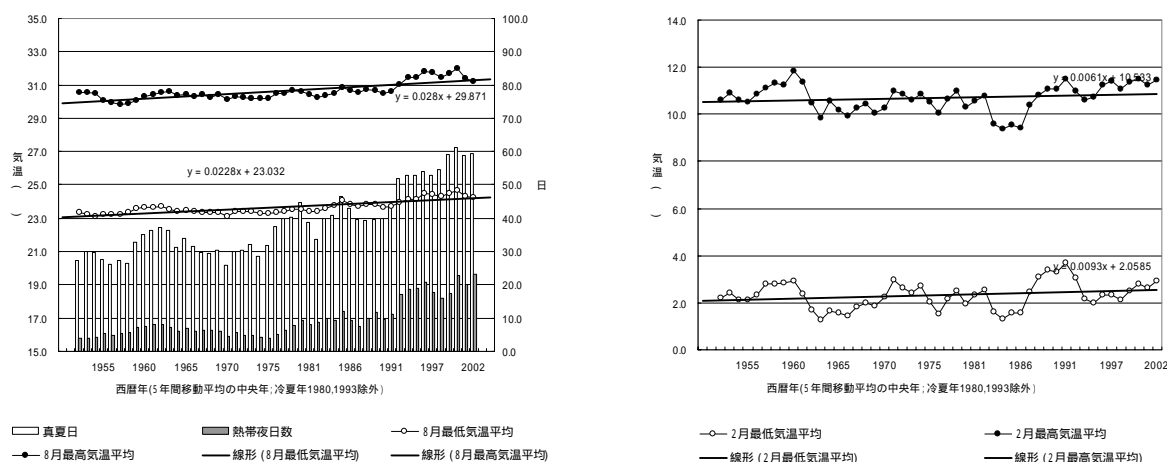


# 浜松市 (気温上昇類型：第4カテゴリー)

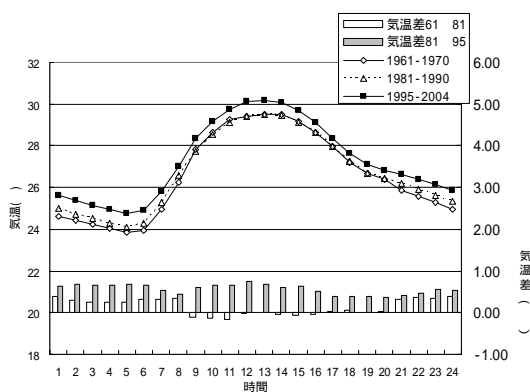
## 基本情報

位置(気象台)	北緯 34° 42.5	東経 137° 43.1	標高 32m	海岸距離 南 5km
都市規模 (2000年国勢調査)	人口(人)	D I D人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	D I D面積(km <sup>2</sup> )
	582,095	407,251	256.74	72.59
	DID人口率(%)	DID面積率(%)	DID人口密度(人/km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
気候 (平年値)	8月最高気温	8月最低気温	2月最高気温	2月最低気温
	30.7	23.7	10.6	2.3
	年平均気温	年平均風速	年間日照時間	年間降水量
	16.0	3.4	2156.8	1875.5

## 気温経年変化

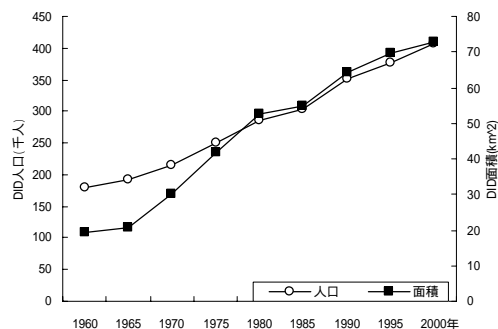


## 時間気温の変化



## 市街地規模の変化

(DID人口・面積)



## 摘要

気温の経年変化をみると、85年頃から2月の気温が上昇傾向となり、90年頃から8月の気温が上昇傾向となった。真夏日、熱帯夜日数は90年代以降に急増している。時刻別気温の変化をみると80年代以降の気温上昇が明確であり、全時刻で気温が上昇している。高温化の範囲をみると、夏季の最低気温は浜松で0.9 上昇しているが、周辺地点もほぼ同様の上昇がみられる。冬季の最低気温の変化をみると浜松では2.9 上昇し、周辺地点以上の上昇がみられる。

DID人口、面積ともに増加傾向が続いている。人口のほとんどが市域の20%の面積のDID地区内に集中している。DID地区の人口と面積はほぼ同様の傾きで増加している。1976年以降の土地利用の変化をみると、農地や森林等の自然的被覆の土地が建物用地等の人工的被覆の土地利用へ変化している。特に1~5km圏内では10%を超える面積が人工被覆化している。

風の状況についてみると、昼間(12時)、夕方(18時)ともに主風向は南南西であり、沿岸部はやや強く、内陸に行くにしたがってやや弱風化する。昼間より夕方の方がやや風は強くなっている。

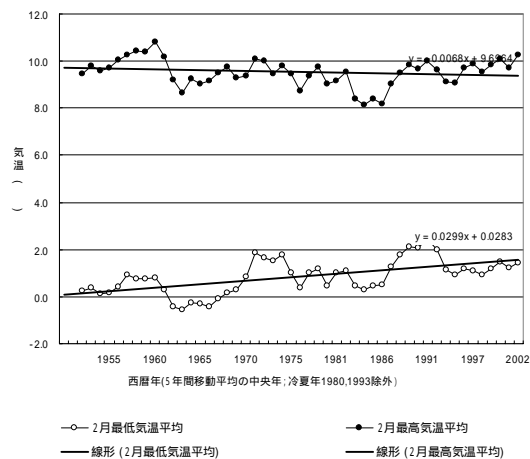
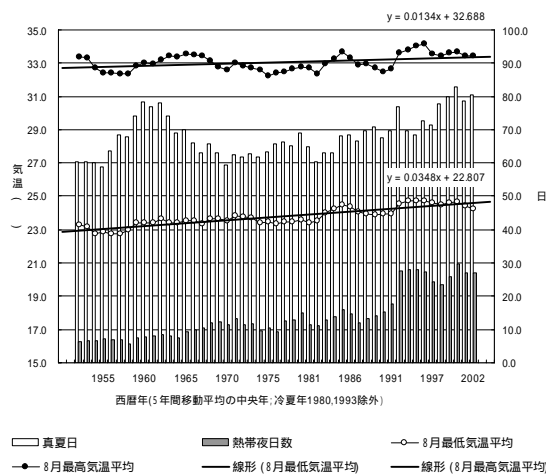


# 京都市 (気温上昇類型：第1カテゴリー)

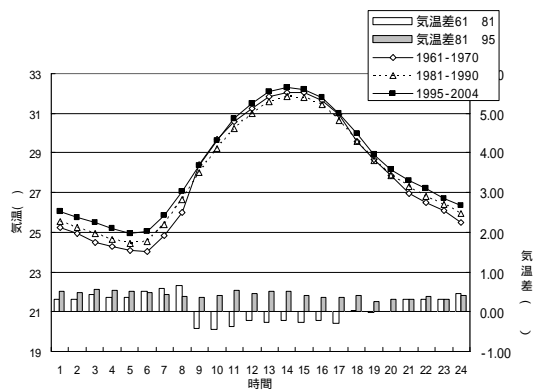
## 基本情報

位置(气象台)	北緯 35°0.9	東経 135°43.9	標高 41m	海岸距離 南西 46km
都市規模 (2000年国勢調査)	人口(人)	D I D人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	D I D面積(km <sup>2</sup> )
	1,467,785	1,388,842	610.22	139.83
	DID人口率(%)	DID面積率(%)	DID人口密度(人/km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
	91.7	22.2	9,932.4	2405.3
気候 (平年値)	8月最高気温	8月最低気温	2月最高気温	2月最低気温
	32.9	23.9	9.3	1.1
	年平均気温	年平均風速	年間日照時間	年間降水量
	15.6	1.6	1734.3	1545.4

## 気温経年変化

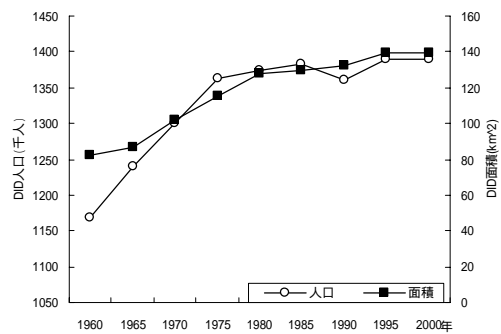


## 時間気温の変化



## 市街地規模の変化

(DID人口・面積)



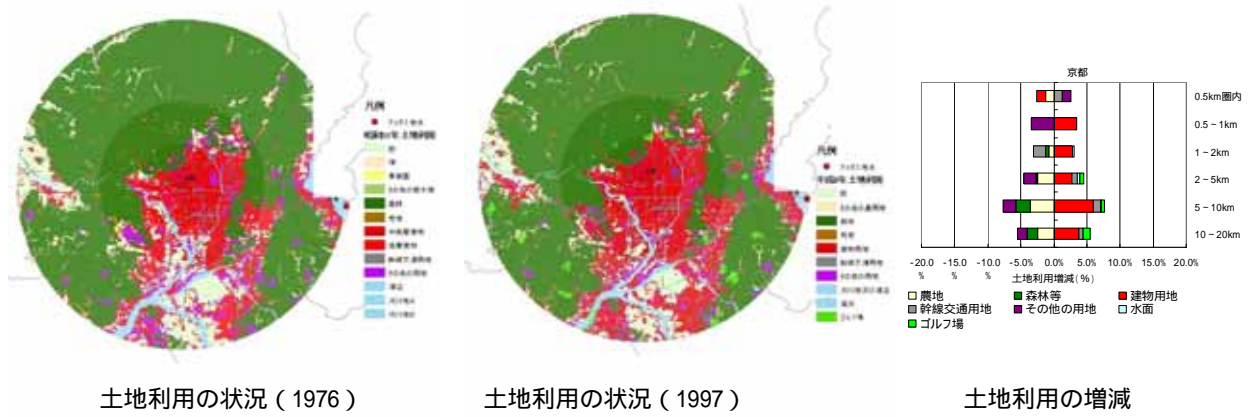
## 摘要

気温の経年変化をみると、8月の最高・最低気温、2月の最低気温に上昇がみられる。気温上昇の傾きでは2月の最低気温が最も大きい。また、真夏日日数、熱帯夜日数が90年代以降急増している。時刻別では早朝の気温上昇が大きくなっている。高温化の範囲をみると、夏季の最低気温は20年間で0.7°C上昇している。周辺地点をみると枚方が1.8°C、京田辺が1.0°Cと京都を上回る上昇がみられる。冬季の最低気温をみると、京都で2.8°Cの上昇がみられる。周辺をみると大阪、奈良、大津でも同様の上昇がみられる。

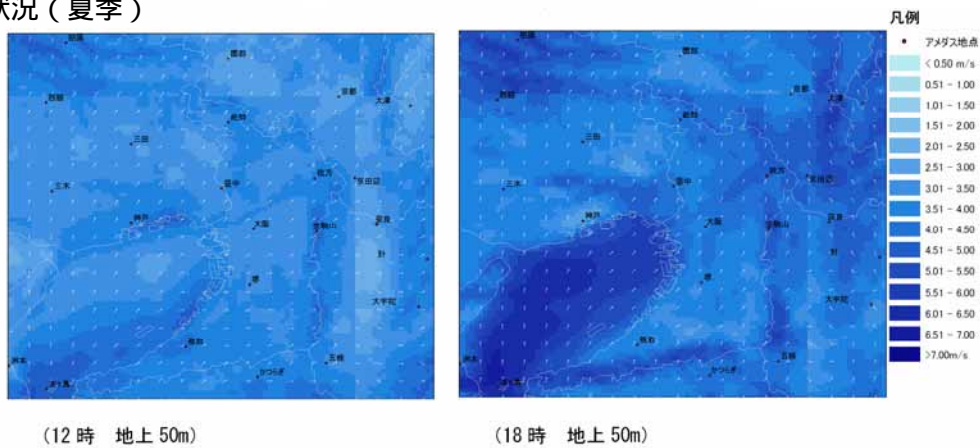
人口の9割が市域の約20%の面積のDID地区内に集中しており、DID地区の人口密度が非常に高くなっている。ただし、1980年以降のDID人口、面積ともに伸びは小さくなってきている。土地利用の変化をみると、他の都市に比べて変化の比率は小さくなっている。2km圏内まではその他の用地等が建物用地に変化するということに人工的な土地被覆同士の変化となっている。2km以上になると、農地や森林等が建物用地に変化している状況が見られる。

風の状況をみると昼間(12時)、夕方(18時)ともに京都周辺は風速が比較的弱くなっている。主風向は南西となっている。

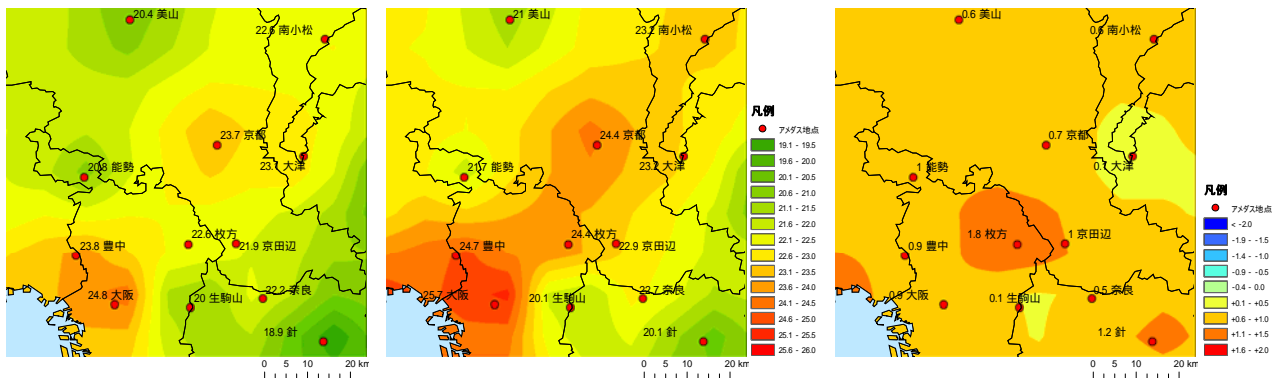
## 土地利用の変化 (20km 圏)



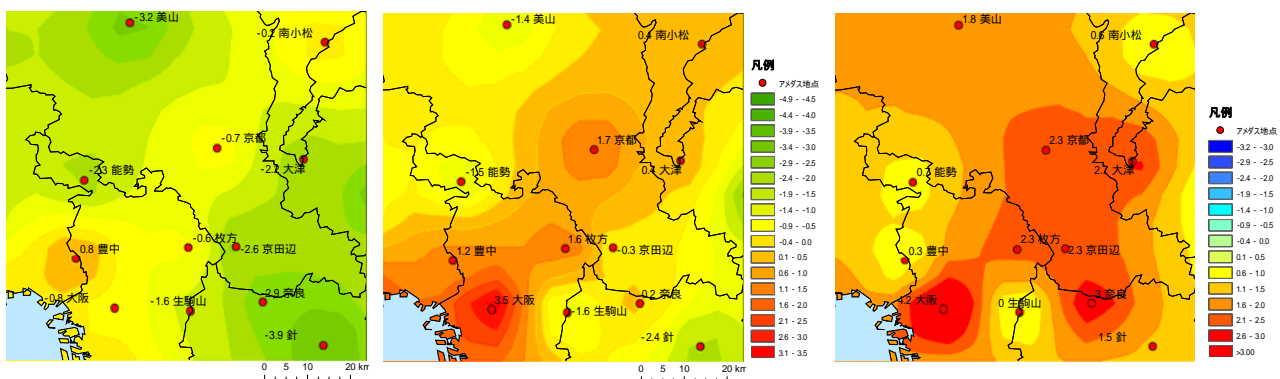
## 風環境の状況 (夏季)



## 高温化の範囲



## 冬季の最低気温 (1980-1984)

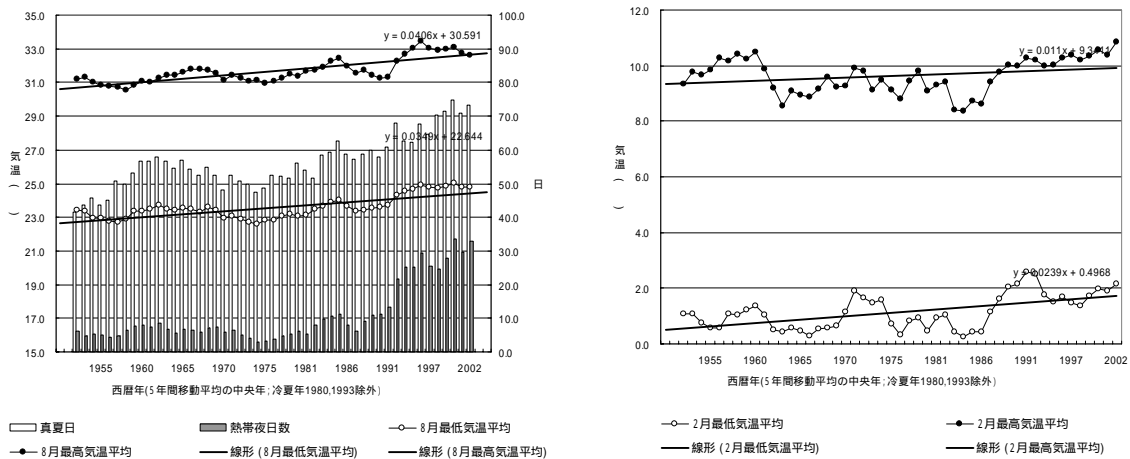


# 高松市 (気温上昇類型：第4カテゴリー)

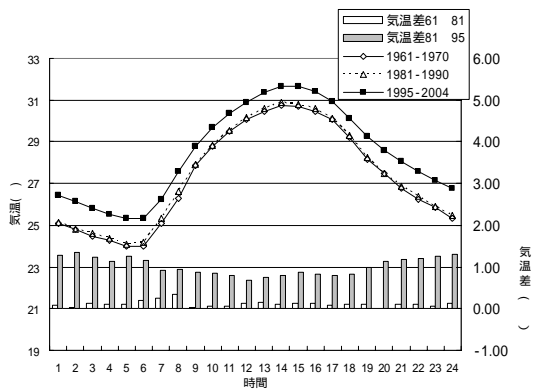
## 基本情報

位置(气象台)	北緯 34°19.0	東経 134°3.2	標高 9m	海岸距離 北3.7km
都市規模 (2000年国勢 調査)	人口(人)	D I D人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	D I D面積(km <sup>2</sup> )
	332,865	217,410	194.33	40.81
	DID人口率(%)	DID面積率(%)	DID人口密度(人/km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
	65.3	21.0	5,327.4	1712.9
気候 (平年値)	8月最高気温	8月最低気温	2月最高気温	2月最低気温
	31.7	23.6	9.6	1.2
	年平均気温	年平均風速	年間日照時間	年間降水量
	15.8	2.4	2076.8	1123.6

## 気温経年変化

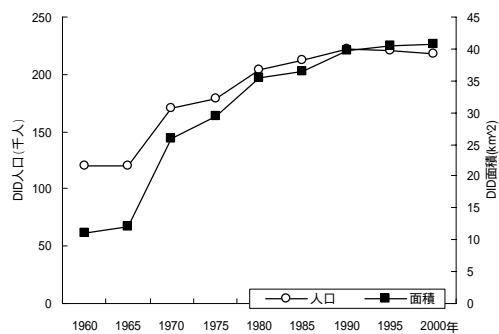


## 時間気温の変化



## 市街地規模の変化

(DID人口・面積)



## 摘要

気温の経年変化をみると、8月については1980年代以降の気温上昇が顕著であり、最高気温、最低気温ともに上昇している。また、熱帯夜・真夏日日数も90年代以降急増している。2月の気温も90年代以降に上昇がみられる。高温化の範囲をみると、夏季の最低気温では高松では1.4 上昇しており、周辺に比べて上昇幅が約1大きくなっている。冬季の最低気温では、高松は1.6 上昇しているが玉野などより上昇している地点もみられる。

DID地区面積、人口ともに1965年から70年の間に急激に増加した。1990年以降は増加が止まりほとんど横ばいの状況となっている。土地利用の変化をみると、主に農地が建物用地等へ変化している。変化の割合は2km圏内が10%を超えている。

風の状況を見ると沿岸地域ではあるが、太平洋沿岸等に比べ弱風である。また、風向は東南東から南東であり、海陸風とは異なっている。

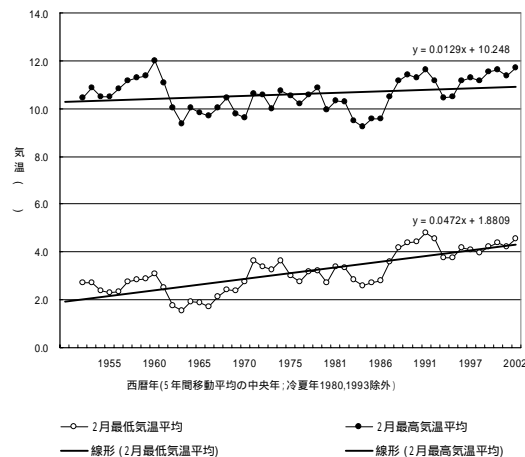
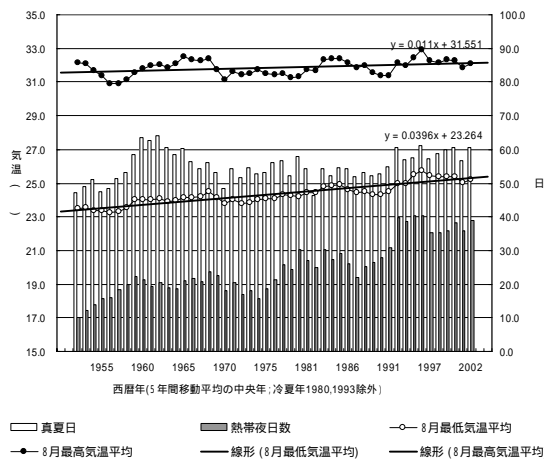


# 福岡市 (気温上昇類型：第4カテゴリー)

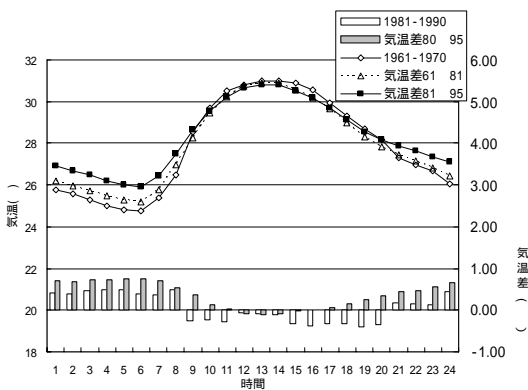
## 基本情報

位置(气象台)	北緯 33° 34.9	東経 130° 22.5	標高 3 m	海岸距離 北 2.4km
都市規模 (2000年国勢 調査)	人口(人)	D I D人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	D I D面積(km <sup>2</sup> )
	1,341,470	1,284,574	339.38	149.17
	DID人口率(%)	DID面積率(%)	DID人口密度(人/km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
	95.8	44.0	8,611.5	3952.7
気候 (平年値)	8月最高気温	8月最低気温	2月最高気温	2月最低気温
	31.6	24.5	10.5	3.5
	年平均気温	年平均風速	年間日照時間	年間降水量
	16.6	2.9	1848.5	1632.3

## 気温経年変化

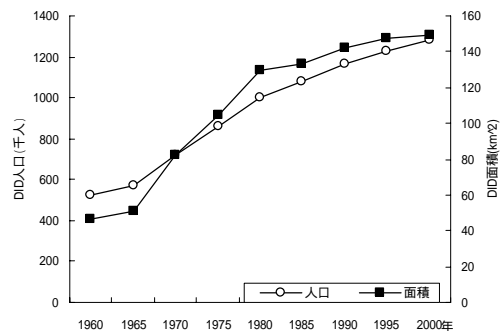


## 時間気温の変化



## 市街地規模の変化

(DID人口・面積)



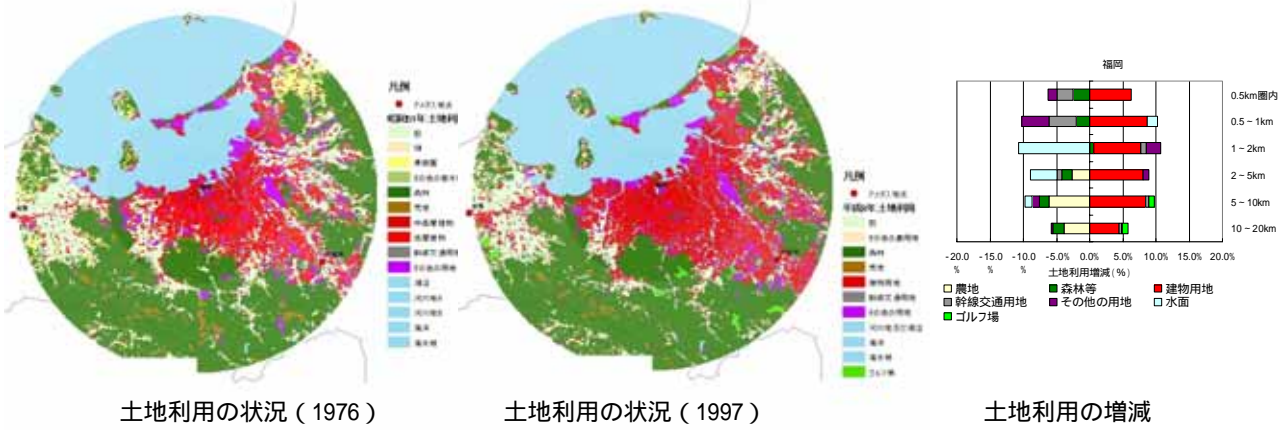
## 摘要

気温の経年変化をみると、2月、8月ともに最高気温・最低気温の上昇傾向が見られる。2月、8月ともに最低気温の上昇が顕著である。真夏日日数の増加が緩やかであるが、熱帯夜は1975年以降、急増している。高温化の範囲をみると、夏季の最低気温では福岡を含め沿岸部で1程度上昇している。冬季の最低気温では、福岡は3.2上昇しており、周辺より上昇幅が大きくなっている。

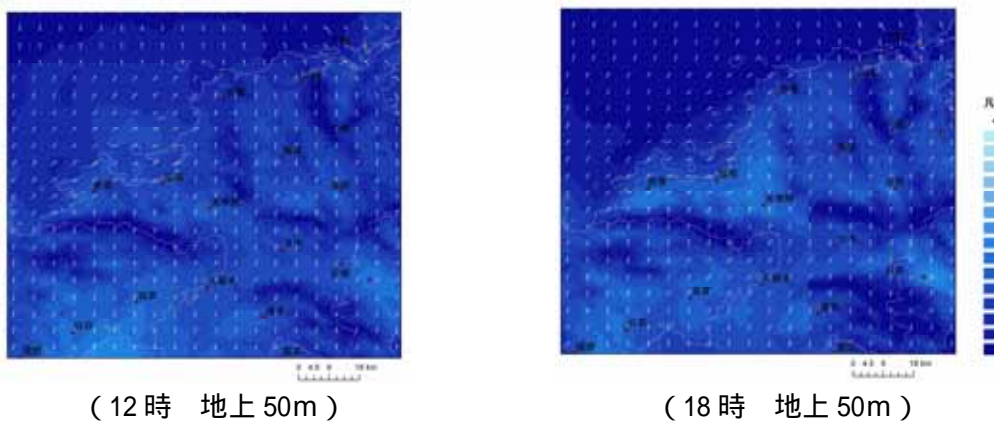
人口のほとんどが市域の44%の面積のDID地区内に集中しており、DID地区の人口密度は非常に大きくなっている。経年的にみると1970年代までは大きな伸び率となっていたが、最近の伸び率は鈍化している。土地利用の変化をみると1km圏内では、その他の用地や幹線交通用地が建物用地に変化している。また1~5km圏内では臨海部の埋め立てにより水面が減少し建物用地等となっている。

風環境についてみると主風向は南から南西となっており、他地域と比較すると風が強くなっている。12時の方がやや風が強く、18時になると内陸部で若干風速が弱まっている。

## 土地利用の変化 (20km 圏)



## 風環境の状況 (夏季)



## 高温化の範囲

